

令和8年度 杉並区立桃井第一小学校 学校経営計画

杉並区立桃井第一小学校

校長 清水 明

1 杉並区教育ビジョン2022より

(1) 杉並区立学校として「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を推進します。

「人は誰もがしあわせになりたいという願いをもっています。誰もが自分らしく生きることを大切にしながら、将来を見通しにくい社会の中でみんなの幸せを創るためには一人一人が当事者としてともに認めあいながら協力して社会を創り、担うこと、そしてそれを支える教育が大切です。そのためには、誰もが等しく学びの機会を得られる「すべての人に教育を」という基礎の上に、共に学び合い、教え合い、かかわり合って、新たな価値を作り出していくための「みんなが共に教育を創る」という考え方が欠かせません。

(2) 以下の視点を教育活動で具体化することが大切です。

- 子どもの思いを尊重する（子供を受け身の存在ではなく主体的な学び手・意思をもつ存在として捉える）
- ちがいを受け入れる（多様性（ダイバーシティ）を前提とし、違いを価値として生かす教育を進める）
- 対話を大切にする（子ども同士、子どもと大人、大人同士の対話を重ね、相互理解と合意形成を図る）
- 学びの成果を贈り合う（学んだことを社会や他者のために生かし、「ありがとう」が循環する関係をつくる）
- 社会を創る当事者として考える（学びを社会課題や地域づくりと結び付け、自分たちが社会を創る担い手であるという意識を育てる）

・・・・・・ 以下、これを受けて・・・

2 教育目標

学び合い、ちがいを認め合い、社会の創り手として共に生きる心豊かな子の育成を目指して以下の目標を設定します。

- よく考える子【知】
- 思いやりのある子【徳】
- たくましい子【体】

3 基本姿勢

○ 私たちは教育公務員として、区民の信頼に基づき、公立学校で公教育を進めます。

○ 私たち一人一人の全てが子供たちのお手本となるようにしましょう。

○ 指導者の能力の限界で子供たちの成長の限界を決めてしまわないようにします。

… 教育公務員の身分を守ることができる範囲内で最大の専門性を発揮しましょう。

○ 子供を一人の人間として尊重し、途中で切れてはならない子どもの生涯期間の中の大切なひと時を預かっていると捉えましょう。

…「過去⇒現在⇒未来」の子供の一生を見通して系統性を確保した指導感をもちましょう。

…目の前の子供も周囲の環境も日々変化しています。「今、必要な指導・支援」を進めましょう。

○ 先生は学校の外でも「先生」として見られています。

4 学校経営の4つの柱

- 令和8年度の桃一小的のメインテーマは「みんなでチャレンジ 咲かせよう笑顔」です。
- 学校経営の4つの柱は「①学力向上 ②からだ力向上 ③授業力の向上 ④インクルーシブ教育」です。
- 目指す児童像は「かしこい人になろう ①考える人になろう ②家で勉強できる人になろう ③本をたくさん読もう ④からだを動かそう」です。

5 学習指導

◎学ぶ意味（必要性）と学び方を理解し、自己調整（自立・自律）できる子供を育てることを目指しましょう。

- 「からだ力」を「運動・生活・食」「日常化・生活化・習慣化」のキーワードの通りに捉え、総合的な健康教育を進めましょう。
- 「令和の日本型学校教育（主体的・対話的で深い学び）」「GIGAスクール構想」の具体化として「対話から自分の考えを広げられる教育」を子供の主体性（自己調整）を通して進められるようにして学力向上を図りましょう。
- 英語専科教員を中心として組織的に外国語教育（ももいちの英語）の充実を図りましょう。
- 特別の教科道徳を中心とした「生命尊重の心をはじめとした豊かな心をはぐくむ教育」、「課題解決型の思考プロセスを身に付ける総合的な学習の時間」を活発に進めましょう。
- 学校における子供社会にある人間関係の最小単位である学級、より大きな社会としての学校の生活や文化を主体的に創造する特別活動を進め、社会性をはぐくむとともにコミュニケーション能力高める機会としましょう。
- 学校図書館を積極的に活用し、豊かな心をはぐくむとともに調査研究活動等の探求的な学習により思考力・判断力・表現力等を高める場としていきましょう。

6 生活指導・安全指導

◎人にやさしく自分を律することができる子供を育てましょう。

- 生命を尊ぶ心、あいさつ、思いやり、規範意識を育てることを通した積極的な生活指導を展開しましょう。
- 「4つのあ」（あんぜん・あいさつ・ありがとう・あつまり）を行動化させる指導を具体的に進めましょう。
- 「自分の命は自分で守る」ことの意識化を図るとともに具体的なスキルを身に付けさせ、危機回避能力を高めさせましょう。
- 定期的、適時の安全点検により安心・安全な学校づくりを進めましょう。

7 キャリア教育

◎「今」を大切にすることができる子供を育てましょう。

- 「キャリアパスポート」等を活用して自己分析（メタ認知）を進めるとともに、将来を展望することを通して自己の生き方を考え実践していく意欲を高めさせていきましょう。

8 特別支援教育

◎「誰一人取り残さない」を基本姿勢として、本校で学ぶ子供たちの多様性を調和させるインクルーシブ教育を進めましょう。

- 校内委員会や特別支援教育コーディネーターを中心として学校生活支援シート、個別指導計画を作成、活用して、特別な配慮を要する児童に適切に対応していきましょう。

○副籍制度による交流及び共同学習を実施し、障害のある児童と通常の学級の児童との交流を通して、障害理解教育を進めていきましょう。

9 連携・一貫教育

スタートカリキュラムや幼保小連携全体計画に基づき幼保小連携教育を、また、井荻中学校・四宮小学校との交流を通して小中一貫教育を実施します。

11 働き方改革

◎どうせやるなら楽しくやっていきましょう。

「何でも話し合える職場、仕事への誇りとやりがいを感じることができる職場、学び続けられる職場」を具体化し教職員のウェルビーイングを実現し続けるように、それぞれの立場で協働・教育 DX・校務 DX を工夫・努力していきましょう。